

平成 23 年度 第 4 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 23 年 7 月 11 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 50 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 23 年度決算見込み（5 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 23 年度決算見込み（5 月末現在）について示す。

(2) 日報速報値について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成 23 年 4 月から 6 月までの入院患者数について，平成 21 年度及び平成 22 年度の累計との比較を示す。

(3) 1 薬品・診療材料の品目の検証と見直しについて

2 物品調達システムの見直し状況について

【説明】中央病院

医薬品及び診療材料の品目数について，推移や他病院との比較，削減案等について説明する。また，物品調達システムの見直し状況として，改良中の物品総合管理システムや複数者による物品要求，検品の体制について説明する。

【質疑等】

中央病院：不良在庫については把握しているか。

中央病院：年間 20 ～ 30 万円程度である。

病院局：不良化した要因の把握が必要である。その上で，対策を講じていかななくてはならない。

中央病院：診療材料費対医業収益比率はどうか。また，薬品費対医業収益比率についてはどうか。

中央病院：今は把握できていない。

【説明】三好病院

医薬品，診療材料の品目数の現状及び今後の検討課題について説明する。また，物品調達システムについて，平成 23 年 5 月から実施している「全てのシステム発注手続きの一元化」及び「複数者による要求と検品の徹底」について説明する。

【質疑等】

病院局：診療材料について、昨年度は 120 品目が購入歴なしということだが、4,600 品目は購入したということか。実際の使用品目数についてはどうか。

三好病院：実際の使用品目数については出せていない。

病院局：契約品目数というのは中央病院における登録品目数は同じか。

三好病院：そうである。

病院局：購入歴のない 120 品目のほかに購入しても使用しない物があるのか。

三好病院：登録しているだけの品目が多くある。

病院局：中央病院と同じように考えると使用してない物が多くあると思われる。中央病院のように使用品目数を出して、また教えてほしい。

【説明】海部病院

医薬品及び診療材料の品目数を見直すために行われる薬事審議会や診療材料購入委員会の開催状況について報告する。また、物品調達について、平成 23 年 5 月、6 月における「要求時の複数者による確認状況」と「検品時の複数者による確認状況」を報告する。

【質疑等】

病院局：海部病院についても、診療材料の実際の使用品目数はどうか。

海部病院：平成 23 年度の購入は昨年度に使用実績のあるものに限っている。

病院局：用時購入はあるのか。

海部病院：入っている。

中央病院：平成 20 年に診療材料の見直しがあり、循環器内科、整形外科で高額だったことから、フォーカスを当てて県内 3 つの業者と交渉を行ったが、タフな仕事だった。薬品については、数の見直しという今のやり方では、コストカットに直結しづらい。例えば、同効の薬品 A と B が入っていた時、「A だけにすればいくらになるのか」というような具体的に交渉しないとつながらない。同効薬が何種類もあるので、1 種類にまとめた場合に納入価がいくらになるのかというやり方でないと、現場がいくら医薬品の品目数を減らしても、納入価への反映は難しいと思う。

病院局：そのとおりで、価格を安くしたり、購入交渉を有利に進めるために、買い方などの戦略がないと難しい。

管理者：価格も大事だが、時間軸で考える必要もある。

(4) 薬品・診療材料等の品目数について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

医薬品、診療材料の品目数の削減案について、他病院の取り組み例を参考に挙げながら、説明する。

【質疑等】

中央病院：薬品費，診療材料費は変動する。患者数が増えることにより，高くなっていくので，対医業収益比率で高いかどうか判断しないといけない。医薬品，診療材料の登録数が増えているので，減らして適正にしないといけないが，とりあえず品目数を 10 %減らすと言われても，使っている現場側は困るだけである。減らすこと自体に意味を持たせないといけない。

管理者：医師の立場からみればそうだが，中央病院の状況として，品目数が多いということについては認識をもってほしい。三好病院，海部病院についても一律に押しつけるわけではないが，使っていないものはきちっと切り捨てていく。1 年経っても残っているようでは，病院経営としてダメだ。人件費と材料費が支出の大部分を占める中で，人件費のカットはやりたくない。材料費でできる限り対応すべきだ。

(5) J - ALERT (全国瞬時警報システム) について

【説明】 病院局経営企画課 経営戦略担当

他の都道府県に対し行った J - ALERT 設置状況調査の照会結果について報告する。また，県立 3 病院の現況についても説明する。

【質疑等】

病院局：中央病院は電話交換室，三好病院と海部病院については事務局に J - ALERT をそれぞれ設置しているが，現在は全館放送するようにはしていない。

三好病院：それでも，海部病院は 3 月 11 日の津波警報発令時に自動的に全館放送されたという話だが，海部病院は運用マニュアルを作成しているのか。

海部病院：できていない。

病院局：これまで J - ALERT の運用については病院の判断待ちであったが，これを機に検討を再開してほしい。つなげた時に混乱が起こらないよう対応をお願いしたい。

(6) その他

- ・平成 22 年度決算審査について

【説明】 病院局経営企画課 予算企画担当

平成 22 年度決算審査について，日程等を示す。

- ・次月分 (8 月分) の病院局経営戦略会議の議題案について

【説明】 病院局経営企画課 経営戦略担当

8 月分の病院局経営戦略会議の議題案について報告する。

【質疑等】

病院局：昨日の看護師ガイダンスについて，各病院から説明，個別相談に協力

いただき感謝している。個別相談については、時間を延長するほどの盛況ぶりだった。